



# 正義とは何か、死刑に正義はあるか

## 死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会「そばの会」

東京都荒川区南千住一五九一六三〇二  
<http://sobanokai.hamamizake.com/>

人間は弱いもので、大概の人はマインドコントロールに陥ります。純粹で正直、真面目な人ほどその傾向にあるように感じます。先の戦争で全国民が天皇万歳と叫び、何百万という人を殺し、自らの命も投げ出してしまいうような行動を取ってしまった現象を見るとときに特に思うのです。

優秀と言われる若い人たちがオウム真理教に入信し、これこそ自分の信すべきものであり生涯をかけて会得したいと思うことを非難できません。宗教は、自分の信ずる宗教こそが唯一のものであり、他は邪教であると多かれ少なかれ説くものです。キリスト教の歴史を見れば宣教という名のもとに、如何に野蛮で残酷極まりない侵略を行ってきたかわかります。他の大きな宗教も勢力を拡大する経過を見れば五〇歩一〇〇歩です。

自民党の総裁選挙にオウム真理教一三人を殺害した上川元法相が立候補した。彼女はクリスチャンらしいが、キリスト教は汝の敵を愛せよと言っているはずでは。執行後の記者会見で「死刑は大変重い刑罰であり、その意味で一点の曇りもなく、まっすぐに澄み切った気持ちでことにあ

たった。慎重にも慎重な検討を加えたうえで、対応したということに尽きる」と述べた。しかし死刑執行前日に安倍晋三らと酒を飲み赤ら顔で乾杯していた写真が出て嘘がばれている。一三人の中には一審無期懲役の人、初めて再審を申請中の人もいたが、そのことも知らず法務官僚に言われるまま執行したに違いない。

法相在任中、一六人も殺すのにどれほど資料を読んだのか、死刑について何も疑問を感じなかったとしたら、首相候補などとんでもない、人間として失格であると言えます。

ホウム(法務)が行う死刑は殺人です。有実であつても人を殺してはいけません。ホウムがやっていることはとても凶悪な「計画的連続殺人」です。日本の歪められた「法」を盾に、「計画的連続殺人」を野放しにしている報いは日本社会を蝕み続けます。

人の殺害に対しての怒りも、このことを支えてしまっている哀しみも、忘れてはいけなと思います。世界の英知、地球の平和に背くことのないように。(KAN)